

Leeward Community College

リーワード・コミュニティカレッジ

所在地

96-045 Ala Ike, Pearl City, Hawaii 96782
ホームページ: <http://www.leeward.hawaii.edu/studyabroad>

主な対象学部
外国語学部・語学留学(英)

沿革

1968年に設立されたハワイ大学付属短大で、ハワイにあるコミュニティカレッジの中で2番目に大きい。オアフ島ホノルル郊外にある真珠湾を見渡すことができるパールシティーにあり、ワイキキからは車で約30分。学生数8,000名。学生と教員の比率は20:1で、ハワイの中では比較的日本人留学生が少ない。2年間分の単位を取得した学生は、自動的にハワイ大学へ編入することができ、留学生を含め学生の約90%はハワイ大学へ編入している。

特色

- 正規授業履修(ESL)にはTOEFL500点以上が必要。
- それ以下の学生はELI(English Language Institute)のIntensive English Programを受講する。ELIのプログラムは1セッション8週間で4レベルある。目安はTOEFL450点以上であれば、Advanced (Level 4)、400点以上ならHigh Intermediate (Level 3)。時期により日本人学生も多い。1週間18時間、平日午前中および週2日の午後の授業。
- 1クラス8~12名の少人数制。教師は全員Master's Degreeを取得している。
- Level 4終了時に優秀な成績を修めた学生は、カレッジのクレジットプログラムに入学することができる。ただしESLプログラム(Level 2,22 / TOEFL550点相当でレギュラークラスとのコンビネーションプログラム)はセメスタープログラムなので、8月、1月からでない受講できない。Level 4を終えた学生は希望すれば延長してESLプログラムも受講できる。

宿泊

ホームステイ。現地の日本人が経営する斡旋会社で日本語によるサポートが受けられる。

生活

平均気温は24~29℃。キャンパス内の治安は非常に良い。オアフ島のバスは100路線以上あり便利。大学内に2つのバス停がある。近くに大きなショッピングセンターやレストランがある。

条件

TOEFL (ITP) 450 (iBT46) 点・TOEIC450点以上が望ましい。

留学時期

2年次または3年次の第2学期から半年間(実質4ヶ月又は6ヶ月)。



ハワイ留学

外国語学部英語・英米文化専攻2016年留学 川口 永輝

私は2016年8月から12月の約4か月の間、ハワイのリーワード・コミュニティカレッジへ留学しました。留学先がハワイということで、観光地としてのイメージが強く、日本語で会話することが多くなり、英語を使う機会が少なくなるのではないかと、という不安もありました。しかし、いざ留学に行ってみると、日本語を使う機会が少なく、英語での会話がほとんどで、とてもいい練習になりました。結果、ハワイ留学は自分にとって良い経験となり、とても満足しています。

麗澤大学からの留学生はみんなELIのクラスを受講しました。2か月1セメスターで、今回は4か月の留学だったので2セメスター分受けました。ELIのクラスはレベル1からレベル4まであり、レベルは最初に受け

るクラス分けのテストで振り分けられます。その結果、私はレベル3からのスタートとなり、2セメスター目ではレベル4を受けました。クラスは8割近くが日本人でした。外国人は、ベトナム人、韓国人、モンゴル人が各ひとりずつでした。そのためやはり、授業中には日本語が聞こえることが何回もありました。受講する科目は、レベル1,2はListening & Speaking, Reading & Writing, Pronunciation, Grammarクラスの4つです。レベル3,4はPronunciationのクラスの代わりにAmerican Cultureになります。授業はプレゼンテーションが多く、少し大変でした。宿題は毎日提出することが基本で大変でした。授業は9時から12時までの日と、12時から16時までの日がありました。時間をうまく使えば課題もそこまで苦になることはありません。授業のレベル自体はそんなに難しくなく、ついていけなくなるということはありませんでした。クラスではペアワークやグループワークが多く、英語を発言する機会が多かったです。現地の学生

たちが受ける授業はとることができないので、ネイティブの人たちと話す機会は少なかったです。そのため、学校にあるサークルに参加して、ネイティブの友達を作っていました。

ホストファミリーに関しては、最初はうまくいかず、ハワイに到着後10日ほどでホスト先を変えました。その際にリーワード大学の留学センターで変更の依頼をしたところ、すぐに動いてくれ、早く家を変えることができました。新しい家族構成は、マザー、ファザー、年の離れたブラザーと日本人のルームメイトが2人でした。1階に留学生、2階にホストファミリーが住むという形でした。それだと、会話も少なくなるのではないかと不安でしたが、ホストは毎日のように下に降りてきてくれて会話をしました。そのため、英語を話す練習も十分にできていました。サンクスギビングではホストの家族を呼び、パーティーを開きそこに出席させてくれ、また誕生日には外食に連れて行ってもらいお祝いをしてもらいました。

1セメスターと2セメスターの間には1週間ほどの休暇があり、マウイ島に行きました。リーワード大学のあるオアフ島からほかの島へは飛行機で1時間かからない場所にあります。そのため、飛行機代も安い価格で行くことができました。

ほかの国の文化を受け入れ、適応することは難しく、かなり時間がかかってしまいましたが、そのおかげで、ほかの国の文化、価値観を知ることができ、よい経験となりました。留学では普段日本にいたら関われないような人とも仲良くなれ、お互いの価値観を交換することができ、外国人、日本人問わず良い出会いがたくさんあり、とても満足のいく留学生活を送ることができました。